

「不易流行・3つのポリシー」

WiseOne 代表 おおにし よしこ 大西 美子



住 所: 明石市大久保町江井島299-1-401
T E L: 078-940-8887
営業内容: 講演マナー・接遇研修・パソコンスクール・資格取得講座

ICTとマナー接遇の講師を生業として30年近くの年月が過ぎました。AIの出現を始めテクノロジーの進化とともに時代は変わり、価値観も様変わりしています。SNSの普及で異なる文化・価値観や意見を見ることが、遠く離れた人や見知らぬ人とも簡単にコミュニケーションできるようになりました。故に心を整えた上でのコミュニケーションのなかで、相互尊重がなければ良好な関係は築けません。仕事・家事・育児に追われていた頃は心の余裕もなく、

たまに家族と衝突したり業務では自らの力不足や理不尽さを感じ悶々とする日もありました。

「人生で起こること、すべて良きこと」と田坂広志氏著書のタイトルです。

この言葉に出会ってから、眼の前の物事に「良きことだった」という「解」を導き出すことで立ち足はだかつていた壁が次々と消えたような気がします。

もちろん支えてくださったお客様や関係各位、そして家族や友人たちのおかげでもあります。

すべて良きこととするには心の余裕と解り力そして覚悟が必要です。

コロナ禍はある意味、内省の時間をたっぷり取れる良い機会だったと思います。

1. まずは自分自身を尊重し、整える人の悩みの大部分は人間関係が起因します。

人間関係は「相互尊重」が基本です。自分の心をまず整えて人間関係を生きることが大切です。

・1秒長く息を吐く
・自分のつぶやきや思考も「てにをは」を省かず丁寧な言葉を意識する

このような些細な行動からでも自分の内側を整える習慣は、不思議と心に余裕が生まれます。

2. 美しさの感性を磨く
人間は美しさを認識することができ

ます。美しいものに触れると自然に身も心

も浄化される気がします。「美しさ」は、芸術に特化したことではなく日常生活にも息づいています。

例えばひとことの声かけや微笑みが暖かなつながりを生み出すことができます。

美しい言葉や行動が世界をより美しく彩り、人々の心を豊かにすることができると信じています。WiseOneは、「美しい世界を守り育てる」がミッションです。

3. 自身の内側でいいねいに言葉をつかう

ひとは日々触れるもので造られています。ひとが一番頻繁に使っているのは、「ことば」です。日々かなりの回数自分の自問自答やつぶやきを脳内で繰り返します。

ともすれば蔑ろにしがちですが、まずは自らの内側で丁寧に言葉を紡ぐように意識します。

自分を丁寧に扱い尊重する、そして自分以外の人も同じように尊重し大切にすると、おのずと「人生で起こること」はすべて良きことになるはず

です。以前は、仕事で出会った方々の素敵に成長された姿を見ると充足感を感じ幸せでしたが、自分も変容しつつあることにさらに喜びを感じています。

時代は変わっていきませんが、自分の人生の終わりに「すべて良きことだった」と言い切れるように日々を丁寧に過ごしていきたいと強く思う今日このごろです。